

琉球大学学術リポジトリ

復帰準備（対内）（政府調査団派遣等）－総理府、
運輸省、海上保安庁他－(2)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): 復帰準備 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43391

文部省

文部省

北米第一課長

OK
OK

勝連城跡発掘調査団 2012

2012.1.23
米北一

本件調査団は、文化庁文化財保護部
記念物課(室野補佐)及び特選局(照会)

1. 2. 3. 概要下記のとおり。

記

1. 構成員(注)及び期間

(1) 文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 横山 広一

2月1日 ~ 2月14日

(2) 文化庁文化財保護部記念物課
主任文化財調査官 平野 邦雄

2月12日 ~ 2月25日

(3) 奈良国立文化財研究所

GA 6

事務官

2

文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 横山 広一
文化財調査官 平野 邦雄
奈良国立文化財研究所

平城宮跡発掘調査部会/調査室長

沢村 仁

2月23日 ~ 3月15日

(4) 文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 田村 晃一

3月11日 ~ 3月25日

2. 調査期間

2月1日 ~ 3月31日 (2ヶ月)

3. 参加人員

現地参加者及び人夫を合わせ 14名 ~ 15名

4. 調査場所

勝連城跡 19丸跡 K9丸跡

5. 調査面積

約 1,600 平方メートル

6. 費用 総経費 600万円

GA 6

外務省

25 日政援助 480万円

琉政予算 120万円

(注) (1) 局長は琉球政府文化財保存委員会
委員長。

日本側派遣員は技術指導に当り。

(2) 民政府の了承と共に、琉球政府は

民間会社に委託し、既に航空機
測量実施済み。LAL. 2月0.50

実地調査には航空機による写真
による必要が認められた。測量基地は

隣接、2つの地点にあり、米側の了解
が得られた。文化庁は懸念なし

(琉政に)
より、本日電話照会にて回答が
得られた。